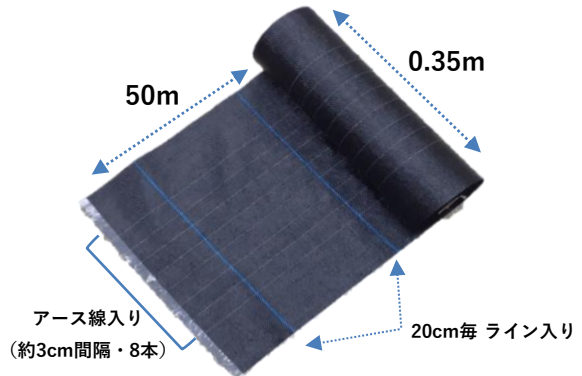
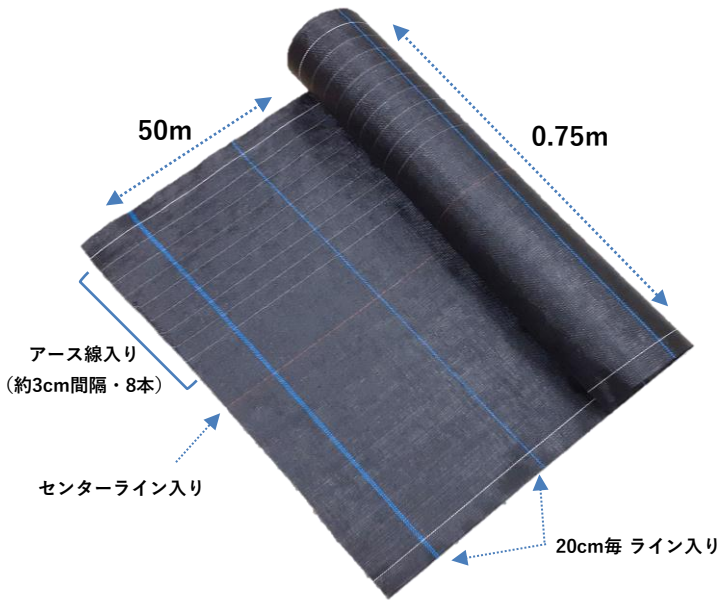


導電性糸を織り込んだ 電気柵用 防草シート！！

アグリアースシート

電気柵の適正な管理を実現！！



- 商品名：アグリアースシート
- 品 番：AS1515
- 規 格：0.75m (巾) × 50m (長さ)
0.35m (巾) × 50m (長さ)
- カラー：ブラック
- 材 質：ポリプロピレン・ステンレス製燃糸

● 電気柵下の雑草対策をしない場合



電線に雑草等の植物が触れると漏電状態となり、電圧低下の原因となります。
漏電状態の時に動物が来て電線に触れた場合、電気ショックが小さくなり、痛みを与えるまでには至らず、結果農地への侵入を許してしまうことがあります。

● 電気柵下にアグリアースシートを設置した場合



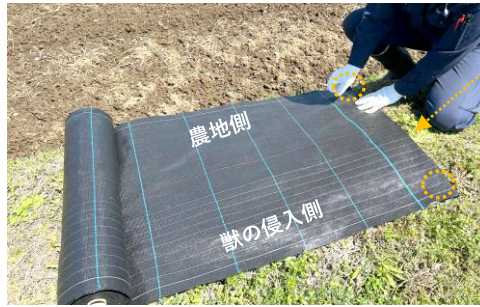
電気柵下にアグリアースシートを敷設することで、雑草の繁殖を抑え、電線に触れることを予防することができます。
また、アグリアースシートは通電性糸を採用しているため、動物が電線に触れた際に、防草シートによる電圧低下を起こさずに電気ショックを与えることができます。

アグリアースシートの敷設方法

● 0.75m×50m（新しく電気柵を設置する際の雑草対策）



はじめに、敷設予定場所の雑草を除去する。



シートをカットした端部は地面側に折り返すことで、端部からのほつれ防止になります。

※アース線が入っている方を、獣の侵入側に向けて設置してください。

0.75m×50mのシートを転がしながら、両端を押さえ用具で止めていく。



敷設現場の形状に合わせて、タワミに注意しながらシートを敷き、両端を押さえ用具で固定していく。

（押さえ用具 設置の目安：50cm～1m間隔）



シートを設置したら、シートの上からセンターラインに沿って、電気柵用支柱を地面に打ち込み、その後支柱に電線を設置する。

※電気柵を設置する際は、メーカーの定める設置方法に則って施工するようにして下さい。

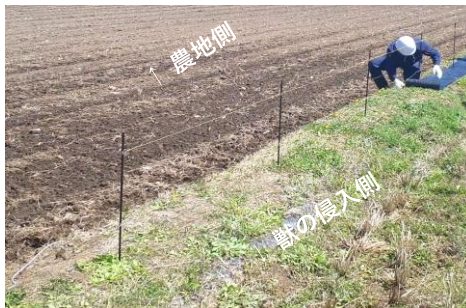


● 0.35m×50m（既存の電気柵下の雑草対策）



電気柵下の雑草を除去する。

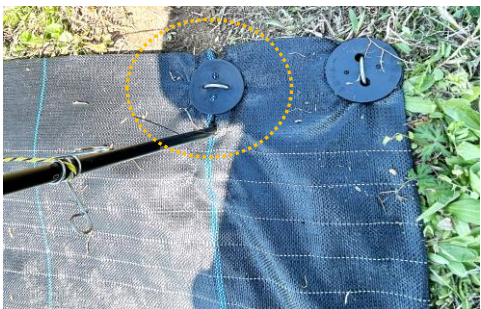
※電気柵の電源は必ず切ったうえで作業を行ってください。



0.35m×50mのシートを、獣の侵入側に置いて支柱に沿わせながら転がしていく。



支柱の位置に合わせてハサミで切り込みを入れて、支柱を挟み込む。



切り込みを入れて支柱を挟み込んだ箇所は押さえ用具で固定する。



敷設現場の形状に合わせて、タワミに注意しながらシートを敷き、両端と切り込み部分を押さえ用具で固定していく。

（押さえ用具 設置の目安：50cm～1m間隔）

